

～ 「中学生になって」 ～

「中学生になって」をテーマに作文を書きました。その一部を紹介します。

「中学生になって」

1年3組 唐木七穂

私は、この上原中学校で頑張っていきたいことが三つある。

一つ目は授業中にたくさん手を挙げて発言することだ。私は小学校の授業中、あまり手を挙げられず友達の意見を聞いているだけだった。そのため、先生に発言すると良くなると言われた。そのため中学校では授業中に沢山手を挙げ発言したい。

二つ目は、部活動のバスケットボール部だ。私は小学三年生から始めたバスケを中学でも続けたいと思った。しかし、中学になると小学生が行っている試合時間よりも約20分長くなり、出場できる時間も増える。そのため、中学の部活では体力をつけなければならない。そのために、一回一回の練習に集中したいと考えている。

三つ目は、忘れ物をしないことと、家の手伝いを自分から進んですることだ。私は小学校の六年間、だんだん忘れ物は減っていったが、六年生の時でもまだ忘れ物はなくなっていない。そのため、中学では忘れ物ゼロを目指したい。しかし、忘れ物をしてしまうこともあるだろう。そんな時は先生に伝えて次から気を付けたい。さらに、今まで全然家の手伝いができていなかったため、これからは自分から進んでしたい。しかし、習い事や部活動で忙しくなり手伝いができないことがあるだろう。だから、空いた時間を使ったりして手伝いをやるなどの工夫を考え実行する。

この三つの頑張っていきたいことを三年間かけて達成できるようにしたい。

「全力ダッシュ」

1年3組 笠原瑠花

私は、この一年で頑張りたいことが四つある。

一つ目は、計画を立てる力を身に付けることだ。なぜなら、小学校では時間通りに動くことができず、やりたいことができなかったからだ。そのために、上原中特有の「教科ごとに教室を移動する方法」を活用し、五分前行動を心がけたり、次の予定を明確にしたりする。

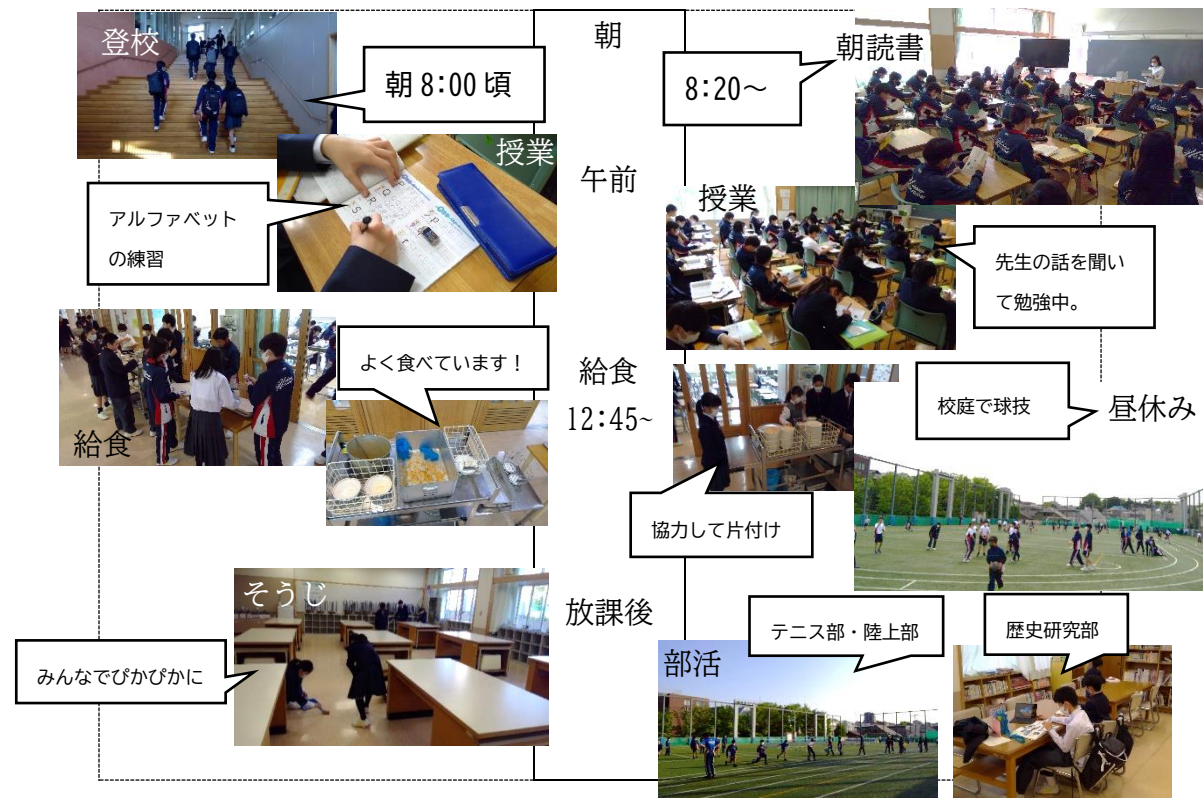
二つ目は、友達を百人作ることだ。なぜなら、小学校のころ他の人が自分に近づくのを待っていて、友達が少なかったからだ。中学生は青春の時期だから、友達と仲良くしたいと思っている。そのために、積極性を持ち他の人に自分から声をかけられるようにしたい。

三つ目は、定期テストで良い点をとることだ。これは、一つ目と二つ目にも関わっている。計画を立ててそれ通りに勉強をしたり、分からないことがあったから積極的に先生に質問したりすることが大切だ。

四つ目は、何事にも全力でチャレンジすることだ。好きなこと・ものだけをやるのではなく、できないこと・苦手なことに多くチャレンジしていきたい。

“できる、その先に楽しい、がある”これは塾の先生が言っていた言葉である。沢山の「できる」を作り、多くの「楽しい」にふれられるよう、全力ダッシュできる一年にしたい。

～上中の1日～



【来週の時間割】

教科担当の先生にしっかり確認し、皆に連絡しましょう。※ 時間割は変更する場合があります。

	24 (月)			25 (火)			26 (水)			27 (木)			28 (金)		
	1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組	3組
1	学	学	学	家	数	体	理	国	国	英	国	国	美	体	理
先生	逢坂	関谷	山田	宮坂	逢坂	紅田	住廣	長谷川	三浦	関谷	三浦	長谷川	柿崎	紅田	住廣
2	数	社	国	国	音	家	国	理	数	理	英	社	社	美	数
先生	逢坂	高橋	長谷川	三浦	山田	宮坂	長谷川	住廣	逢坂	住廣	関谷	高橋	高橋	柿崎	逢坂
3	体	理	数	体	国	技	音	英	体	音	体	英	数	英	美
先生	紅田	住廣	逢坂	紅田	三浦	安諸	山田	関谷	紅田	山田	紅田	関谷	逢坂	関谷	柿崎
4	社	家	体	英	国	社	体	社	英	国	技	理	理	数	英
先生	高橋	宮坂	紅田	関谷	長谷川	高橋	紅田	高橋	関谷	三浦	安諸	住廣	住廣	逢坂	関谷
5	国	数	理	美	社	英				道	道	道	英	理	国
先生	長谷川	逢坂	住廣	柿崎	高橋	関谷				担当	担当	担当	関谷	住廣	三浦
6	英	音	社	技	英	美							総	総	総
先生	関谷	山田	高橋	安諸	関谷	柿崎							担当	担当	担当
備考	尿検査1次提出						内科検診1年 済中研総会			避難訓練・職員会議 参加確認書 必切					

～保護者の皆様～「ひとこと 第2号・第3号」への多数のコメントありがとうございます。今回紙面の都合上、コメントの掲載ができませんが、今後ともよろしくお願ひします。